

図書館開館70年



問 図書館 ☎ (61) 3002

「町の中の大きな家」「住宅地の中にある優しさを持った建物」という考えで、図書館は現在の形になりました。今年で開館70年を迎え、町の中にある大きな家は、すっかり町並みに馴染むようになりました。

図書館70年の歩み

- 昭和23年 町立図書館が旧町役場の一角に設立
- 昭和29年 現在の場所に町立図書館本館が開館
- 昭和30年 町民に図書の本外貸出を開始
- 昭和36年 月京児童館図書室に県立図書館自動車文庫開設
- 昭和44年 故吉田茂氏蔵書1,888冊を吉田健一氏より寄贈
(吉田文庫として保管)
- 昭和51年 蔵書5,868冊と書架12台を坂西志保氏遺族より寄贈
(坂西文庫として保管)
- 昭和54年 町役場国府支所2階に国府分館が開館
- 昭和55年 「おはなしと紙芝居」を本館・分館共に開始
- 昭和58年 3月 現在の図書館本館が完成 8月 一般貸出開始
- 昭和59年 自動車文庫「かんがるー号」の運行開始 (平成9年学級招待開始(小学4年生対象))
- 昭和60年 幼稚園見学開始(年長児対象) ①
- 昭和63年 大岡昇平氏遺族より蔵書421冊寄贈
(大岡文庫として保管) ②
- 平成3年 まちの資料室・いそちゃん広場等改修工事 ③
- 平成4年 現在ある図書館本館の開館から100万冊目の貸出を達成
- 平成8年 近隣3市1町と公共図書館広域利用を開始
- 平成14年 消防署国府分署2階に国府分館が移転、開館
- 平成17年 第1回「図書館まつり」開催
- 平成30年 東海大学付属図書館との相互利用を開始
神奈川大学図書館との相互利用を開始
放課後子ども教室にて催し物の開催を開始 ④



▲現在の図書館本館

図書館ってどんなところ？

図書館では、図書を借りる、資料を調べる、行事に集うなど、住民に開かれた図書館としてサービスを行ってきました。

大磯町には図書館本館と国府分館があり、月替わりの展示や催し物、おはなし会なども開催しています。

① 学級招待で秘密の場所へご案内

昭和60年から始まった学級招待は、町立小学校の4年生に「図書館の使い方・本の探し方・催し物を楽しむ」の3つを伝えるため、図書館で実施しています。

普段は入れない屋根裏部屋や書庫に興味津々です！



▶学級招待の様子

② 幼稚園の図書館見学

昭和63年から図書館の簡単な使い方や映画会、おはなし会を体験して、図書館に親しみを持ってもらうため、年長組の図書館見学を実施しています。平成17年には保育園も加わりました。最後の自由貸出の時間では、カバンいっぱいの本を借りていく園児の姿も見受けられます。



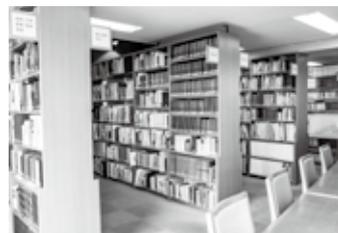
▲幼稚園見学の様子

③ 「2階まちの資料室」とは？

平成3年に大規模な改修工事を行い、本館2階に「まちの資料室」が設立されました。大磯町及び周辺地域の歴史、地理、文化、自然など各分野の出版物と、自治体の刊行物、参考資料(辞書・事典)等を揃えています。特別収書として、吉田文庫(吉田茂元首相)、坂西文庫(社会評論家・坂西志保氏)、大岡文庫(小説家・大岡昇平氏)の一部を実際に手に取って見ることが出来ます。

また、図書館ホームページの

図書館ミニだよりにて「大磯ふるさと往還」を掲載しています。これは大磯町に関する資料を、テーマ別にあらすじ等をまとめたリストです。地域の研究や調べ学習にぜひ活用ください。



▲2階まちの資料室

④ 放課後子ども教室に出張！

平成30度からは学期ごとに、町立小学校において実施されている「放課後子ども教室」に図書館が出張して催しを行っています。1学期は大磯小学校に6月20日(水)、国府小学校に6月27日(水)に出張し、本の紹介とポップアップカードの作成をしました。また2学期にも出張予定で



▶放課後子ども教室の様子